

実施日：4／23    5／7    6／18    7／2    各（8：20～8：35）									
領 域：③特別活動									
取組名：人権朝会									
対 象：全学年	実施場所：体育館								
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい人権感覚と豊かな感性を育て、自他を大切に、思いやりの心や挑戦する心を持った児童を育てる。</li> <li>・学校の人権教育の取り組みを人権通信やホームページを通して保護者に周知し、連携を深める。</li> </ul>									
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当月の教員が、人権の視点を明確にした講話を行う。それぞれの視点は、年度当初に決めておき、偏りがないようにする。（その時の学校や児童の実態に合わせて変更することは可）</li> <li>・ロールプレイやペープサート、絵本、劇など児童の実態に合わせて多様な方法で講話を行った。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>4月「じんけんってなあに」</td> <td>視点（人権教育全般）</td> </tr> <tr> <td>5月「違いを豊かに」</td> <td>視点（特別支援学級について）</td> </tr> <tr> <td>6月「笑顔いっぱい西紀南小学校になるために」</td> <td>視点（プラス思考）</td> </tr> <tr> <td>7月「ともに生きていこう」</td> <td>視点（多文化共生）</td> </tr> </table> <p><b>人権朝会後のふり返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級で、発達段階に応じて補足し、話し合う。</li> <li>*低学年（1～3年生）は、各学級で話し合う中で内容を深める。</li> <li>*高学年（4～6年生）は、ふり返りの感想を記入する。</li> <li>*感想は、担任とその月の担当者が読んだ後、児童に返却する。</li> </ul>		4月「じんけんってなあに」	視点（人権教育全般）	5月「違いを豊かに」	視点（特別支援学級について）	6月「笑顔いっぱい西紀南小学校になるために」	視点（プラス思考）	7月「ともに生きていこう」	視点（多文化共生）
4月「じんけんってなあに」	視点（人権教育全般）								
5月「違いを豊かに」	視点（特別支援学級について）								
6月「笑顔いっぱい西紀南小学校になるために」	視点（プラス思考）								
7月「ともに生きていこう」	視点（多文化共生）								
ウ 連携先：保護者、地域									
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権朝会での講話の内容をまとめ、人権通信として発行し全児童に配付し保護者への周知を図る。</li> <li>・ホームページに取り組みの概要を載せて保護者や地域の方に発信していく。</li> </ul>									
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>人権朝会の後、各学年でふり返りを行う。高学年の児童は感想を書き、それらを交流する。また、人権教育の掲示板を活用し講話内容を掲示する。児童の感想も掲示することで、いろいろな考え方や思いを共有する。</p>									
<p>カ 評価の方法</p> <p>人権朝会の後、ふり返りとして児童の感想や気づきから、内容の把握や理解を検証する。</p>									
<p>キ 成果</p> <p>年間を通して人権朝会を実施することで、学校をあげて「人権教育」に取り組むことができる。様々な視点から児童の正しい人権感覚と豊かな感性を育てることに繋がっていると感じている。</p>									
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた短い時間の中で行うため、児童の考えや理解の深まりが十分でないこともでてくる。講話後、ていねいに確認などをする必要がある。</li> <li>・児童が学んだことを生活の中に生かせるように継続的な取り組みが必要である。</li> </ul>									

実施日：9／10 10／1 11／19 12／3 (2学期実施分) 各(8：20～8：35)	
領域：特別活動	
取組名：人権朝会	
対象：全学年	実施場所：体育館
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい人権感覚と豊かな感性を育て、自他を大切に、思いやりの心や挑戦する心を持った児童を育てる。</li> <li>学校の人権教育の取組を人権通信やホームページを通して保護者に周知し、連携を深める。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当月の教員が、人権の視点を明確にした講話を行う。それぞれの視点は、年度当初に決めておき、偏りがないようにする。(その時の学校や児童の実態に合わせて変更することは可)</li> <li>ロールプレイやペープサート、絵本、劇など児童の実態に合わせて多様な方法で講話を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月「フェアプレー」 視点(人間関係)</li> <li>10月「ぼくのきもちもかんがえてよ」 視点(人権・同和)</li> <li>11月「ゲーム依存・インターネットの危機」 視点(情報モラル)</li> <li>12月「ぼくがラーメンを食べているとき」 視点(国際理解)</li> </ul> </li> </ul> <p>人権朝会後のふり返し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学級で、発達段階に応じて補足し、話し合う。</li> <li>*低学年(1～3年生)は、各学級で話し合う中で内容を深める。</li> <li>*高学年(4～6年生)は、ふり返りの感想を記入する。</li> <li>*感想は、担任とその月の担当者が読んだ後、児童に返却する。</li> </ul>	
ウ 連携先：保護者、地域	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権朝会での講話の内容をまとめ、人権通信として発行し全児童に配付し保護者への周知を図る。</li> <li>ホームページに取組の概要を載せて保護者や地域に発信していく。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>人権朝会の後、各学年でふり返しを行う。高学年の児童は感想を書き、それらを交流する。また、人権教育の掲示板を活用し講話内容を掲示する。児童の感想も掲示することで、いろいろな考え方や思いを共有する。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>人権朝会の後、ふり返しとして児童の感想や気づきから、内容の把握や理解を検証する。</p>	
<p>キ 成果</p> <p>年間を通して人権朝会を実施することで、学校をあげて「人権教育」に取り組むことができる。様々な視点から児童の正しい人権感覚と豊かな感性を育てることに繋がっていると感じている。</p>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた短い時間の中で行うため、児童の考えや理解の深まりが十分でないこともでてくる。講話後、ていねいに確認などをする必要がある。</li> <li>児童が学んだことを生活の中に生かせるように継続的な取組が必要である。</li> </ul>	

実施日：1 / 2 4    2 / 4    2 / 2 5 (3学期実施分)    各 (8 : 2 0 ~ 8 : 3 5)	
領 域：特別活動	
取組名：人権朝会	
対 象：全学年	実施場所：体育館
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい人権感覚と豊かな感性を育て、自他を大切にし、思いやりの心や挑戦する心を持った児童を育てる。</li> <li>・学校の人権教育の取組を人権通信やホームページを通して保護者に周知し、連携を深める。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当月の教員が、人権の視点を明確にした講話を行う。それぞれの視点は、年度当初に決めておき、偏りがないようにする。(その時の学校や児童の実態に合わせて変更することは可)</li> <li>・ロールプレイやペープサート、絵本、劇など児童の実態に合わせて多様な方法で講話を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1月「わたしにできることはどんなことだろう」                      視点(平和)</li> <li>2月「どんな感じ？」    視点(思いやり)</li> <li>2月「1年のふりかえりをしよう」    視点(1年間のまとめ)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>人権朝会後のふり返し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級で、発達段階に応じて補足し、話し合う。</li> <li>*低学年(1～3年生)は、各学級で話し合う中で内容を深める。</li> <li>*高学年(4～6年生)は、ふり返りの感想を記入する。</li> <li>*感想は、担任とその月の担当者が読んだ後、児童に返却する。</li> </ul>	
ウ 連携先：保護者、地域	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権朝会での講話の内容をまとめ、人権通信として発行し全児童に配付し保護者への周知を図る。</li> <li>・ホームページに取組の概要を載せて保護者や地域に発信していく。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>人権朝会の後、各学年でふり返しを行う。高学年の児童は感想を書き、それらを交流する。また、人権教育の掲示板を活用し講話内容を掲示する。児童の感想も掲示することで、いろいろな考え方や思いを共有する。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>人権朝会の後、ふり返しとして児童の感想や気づきから、内容の把握や理解を検証する。</p>	
<p>キ 成果</p> <p>年間を通して人権朝会を実施することで、学校をあげて「人権教育」に取り組むことができる。様々な視点から児童の正しい人権感覚と豊かな感性を育てることに繋がっていると感じている。</p>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた短い時間の中で行うため、児童の考えや理解の深まりが十分でないこともでてくる。講話後、ていねいに確認などをする必要がある。</li> <li>・児童が学んだことを生活の中に生かせるように継続的な取組が必要である。</li> </ul>	